

薩摩川内市入来麓

～伝建地区保存会の取り組みとこれから～



入来麓伝統的建造物群保存地区保存会
会長：種田 幸正

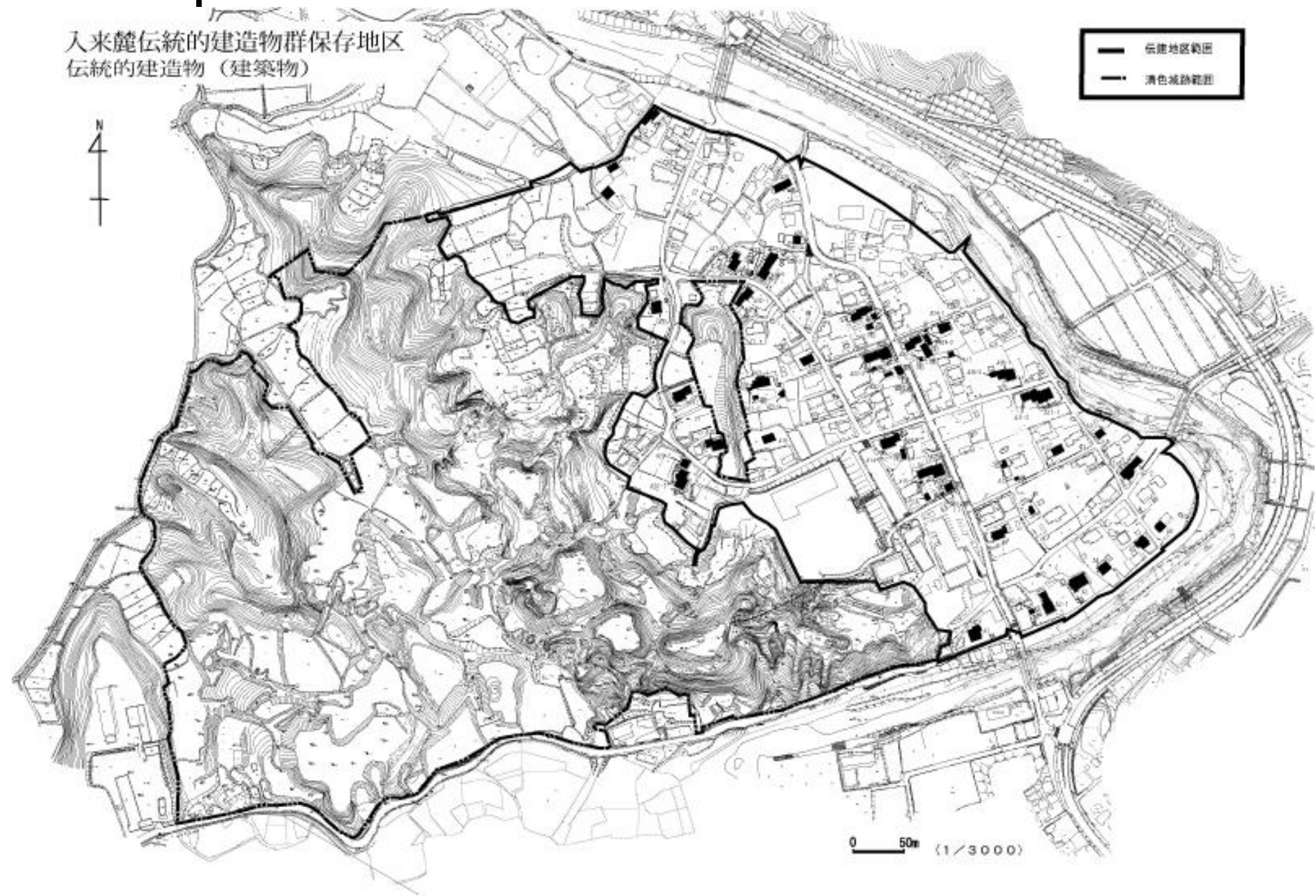
地区の概要

- 選 定：平成15年12月25日
- 面 積：約19.2ヘクタール
(東西約750m 南北約550m)
- 伝統的建造物 265件
 - 建築物 68件
 - 工作物 197件
- 環境物件 40件

入来麓傳統的建造物群保存地区
傳統的建造物（建築物）



0 50m (1/3000)





清色城跡

伝建地区

入来文書



宝治元年(1247)に
下向してきた渋谷氏の子孫
によって受け継がれ、
明治維新までの
約620余年間
入来院氏(渋谷氏)の動向を
記してある「入来文書」が
残る。



入来麓の現況



お仮屋馬場の石垣



旧増田家住宅

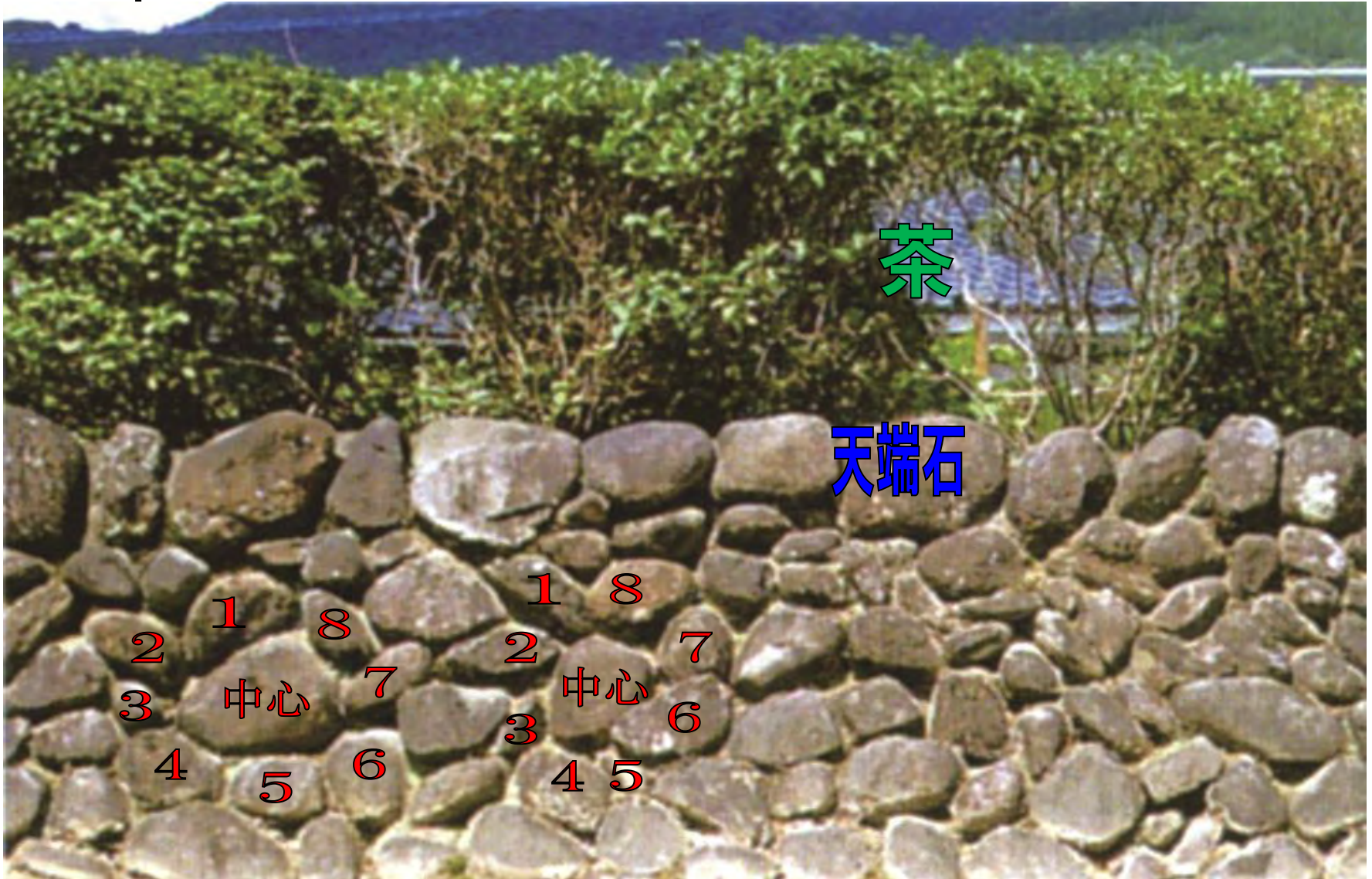


犬ノ馬場から清色城跡を望む



市指定文化財かやぶき門

石垣の特徴



そろそろ
想像してみよう！入来麓の武家屋敷はこんなもの～屋敷構え編

ゆしきがまえへん

街並に面して井戸や風呂場または便所を設けます。

入来麓には石蔵や土蔵があります。家財道具をおさめています。



農耕用に牛などを飼っていました。堆肥溜場や物置にもなっていました。「なかえ」のそばに置かれることが多いです。



武家屋敷の入口には納木門（往から伸ばした前伏の檼本で屋根を支える形式の門）や石柱門が置かれます。



防敵のために入口から玄関まで何度も折れ曲がるのがっています。



母屋に面して庭が作られます。樹木を植えたり、池を掘ります。また流石様を祭ったりします。



玉石垣の上に生垣を植えます。さらに向こうには建物の屋根が見えます。

「なかえ」とは厩舎在したり農作業を行う土間と、食事をする床上の空間からなる建物で入来の武家屋敷の場合、街路から離れた場所に置かれます。



入来麓の武家住宅は接客を主とした「おもて」と生活が主な「なかえ」の2つからなります。「おもて」には土間があり、街路の面した場所に置かれます。また玄関はこの「おもて」と「なかえ」のすれ違った部分に設けています。



史跡清色城跡



縄張図



堀切

- 平成16年9月30日指定
- 平成21年7月23日追加指定
- 指定面積：約18 h a



旧増田家住宅

保存修理工事



旧増田家住宅

- ・ 母屋は、江戸末期から明治初期に建築
- ・ 茅葺の痕跡を修理前の調査で確認
- ・ 石蔵は、大正7年建築。1階に刻銘が残る
- ・ 大正12年に入来町で大火があり、その後、いち早く瓦に葺き替えられたと口承される
- ・ 代々、眼科医を営み、この建物でも治療を行っていた





保存会の主な活動

害虫駆除

伝建地区全体に掛けてのヒトツバの数の調査と、
害虫(キオビエダシャク)の駆除を行いました。



キオビエダシャク

樋脇川のホタルの増殖

伝建地区外周にある川(樋脇川)のホタルの数を増やすため、増殖施設を作りました。



ホタル増殖施設作業状況



ホタル増殖施設作業状況

休耕田の利用

休耕田を利用して、菜の花畑・コスモス園を作りました。



3月末頃休耕田の菜の花



種蒔き



10月半ば頃休耕田のコスモス

除草・清掃作業

空き家周辺の除草作業やお堀の清掃を行いました。

空き家の周囲の除草



お仮屋馬場（お堀）の清掃
（地元清色消防分団の協力）



消防訓練

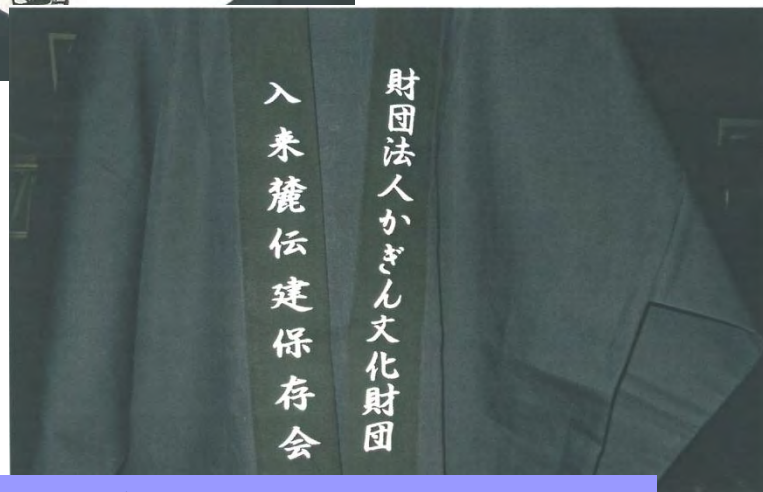


銀行等の助成

観光案内者のユニフォームとして法被を製作しました。



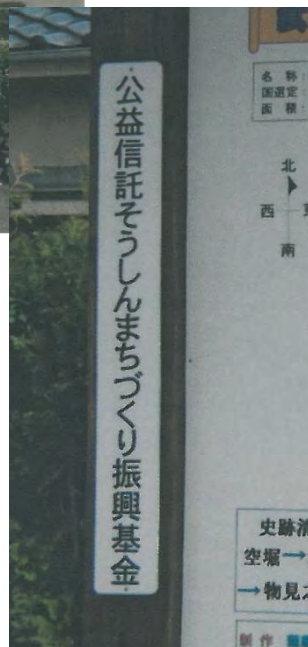
そうしんまちづくり振興基金
「手戦(ティッサ)」モチーフ



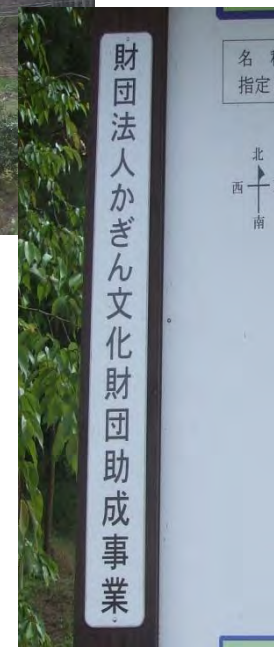
かぎん文化財団助成事業
「疱瘡(ほうそう)踊り」モチーフ

銀行等の助成

観光案内板を設置しました。



そうしんまちづくり振興基金



かぎん文化財団助成事業

馬場名の一般公募

名前のない馬場(通り)の名前を広く募集し、決定しました。



青少年交流会

県内外から訪れた子供たちと入来麓地区の子供たちの交流を行いました。

文化財少年団との交流



長野県信州新町小学校
児童との交流

他地域の武家屋敷群の視察

武家屋敷サミットなどに参加し、他地域の武家屋敷群を視察しました。



旧増田家住宅現場見学会

現在復原工事が進められている旧増田家住宅の見学会を実施しました。



清色橋の架け替え工事

保存会からも要望を出し、地域の無形民俗文化財の絵や石垣模様の欄干などのデザインが採用されました。

新清色橋



旧清色橋



清色橋渡し初め式

清色橋の完成を記念して、渡し初め式を開催しました。



その他の活動

- 麓地区に伝わる伝統恒例行事として、毎年正月明けに鬼火焚きをとり行っています。
- 毎年秋に行われる入来ファミリーハイキングのコースとなっているため、展示ブースの設置などを行っています。
- 北部九州中近世域郭研究会合同研究見学会に参加しました。
- 薩摩川内市内外で行われる各種イベントにて、観光案内を行っています。



鬼火焚き



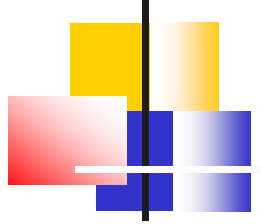


保存会活動の課題



今後の課題

- 高齢化が進み、若者がほとんどいない
- 後継者育成
- 集落住民だけによる保存活動ではなく、地区コミュニティと連携した活動
- 入来麓で初めての公開施設となる「旧増田家住宅」を活用した活動の充実



お わ り